

事務事業名		しいたけ品評会参画事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	05:豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	
	施策名	20:産地化をめざした農林業の振興				
	基本事業名	03:林業の振興			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和62 年度 ~)	
根拠法令					☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部課名	農林水産部農林課			予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 02 02 06	
	係 名	林業係	電話	27-3111		
			内線	7127		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 気仙地方乾しいたけ品評会は、気仙地方のしいたけ生産を推進し、生産者の技術の改善と品質向上意欲を高め、あわせて、市場の流通の確立と安定化を図ることを目的としている。
 ・気仙地方乾しいたけ品評会に参加することで、生産者の技術の改善と品上意欲を高めている。
 ・構成団体として、負担金を拠出している。

全体計画(期間限定複数年度のみ)
 総投入量
 (千円)
 事業費
 財源内訳
 国庫支出金
 都道府県支出金
 地方債
 その他
 一般財源
 事業費計 (A) 0
 人件費
 正規職員従事人数
 延べ業務時間
 人件費計 (B) 0
 トータルコスト(A)+(B) 0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 品評会参加回数	回
品評会に負担金を拠出している。		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様			
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
気仙地方乾しいたけ品評会		名称	単位
		カ 大船渡市からの参加者数	人
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
負担金の納入により、品評会の運営が健全なものとなり、しいたけ栽培に関する有効な情報が継続的に発信される。		名称	単位
		サ 大船渡市からのしいたけ出品数	個
		シ	
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
林業生産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
投入量	財源内訳	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源						
		事業費計 (A)	50	50	50	50	50	50
	人件費	正規職員従事人数	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	3	3	3	3	3	3
		人件費計 (B)	12	12	12	12	12	12
		トータルコスト(A)+(B)	62	62	62	62	62	62
活動指標		ア 回	1	1	1	1	1	1
		イ						
		ウ						
対象指標		カ 人	8	11	4	6	10	10
		キ						
		ク						
成果指標		サ 個	8	11	4	6	10	10
		シ						
		ス						

事務事業ID	0563	事務事業名	しいたけ品評会参画事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

気仙地方の乾しいたけ生産を推進し、生産者の技術の改善と品質向上意欲を高め、あわせて、市場の流通の確立と安定化を図ることを目的に開催されており、平成20年度で22回目となった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・農業従事者の減少、高齢化が進んでいる。所得が不安定なため、新たな後継者がなかなかあられない。また、品評会等に積極的に参加するなどの意欲も低下しているのが、けんちよである。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

しいたけ生産者から、ほだ木造成に対する更なる資金援助等が望まれている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 気仙地方乾しいたけ品評会への参画を通し、気仙地方の乾しいたけの生産者の技術の改善と品質向上意欲を高めることから、それらを当市乾しいたけ生産振興に、役立てる事業であるから、政策体系と結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 品評会への参画団体は、気仙地方の市町等であることから、それぞれの市町等がこの協議会への参画を通し、乾しいたけ生産振興を図ることになるので、関与は妥当。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 品評会に負担金を納入して運営を支えることで、しいたけ産業の振興に有効な情報を得ることになるので、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] ・引き続きしいたけ産業の振興につながる有効な情報を得るためにも、継続して事業に参画する必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] ・全国及び県内における乾しいたけ生産にかかる適切な、情報を得るために、品評会への参画は必要であり、事業の廃止・休止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 気仙地方乾しいたけ品評会に参画する事業は当該事業のみで、他の事業との統廃合はできない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 事業費は負担金のみで、削減できない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 負担金納入事務にかかる担当職員の人件費であり、削減できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 受益者負担は発生しない

事務事業ID	0563	事務事業名	しいたけ品評会参画事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 気仙地方乾しいたけ品評会に参加することにより、しいたけ栽培に関する有効な情報をえている。事業を継続することが成果の維持につながる。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 引き続き、しいたけ生産の振興につながる有効な情報を得るためにも、継続して事業に参画する必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

4 事務事業の2次評価結果

(職名)	原則として施策の主管課長	(氏名)
2次評価者	農林課長	

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 左記 ~ とも適切であり、見直し余地等はない。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり、継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
--